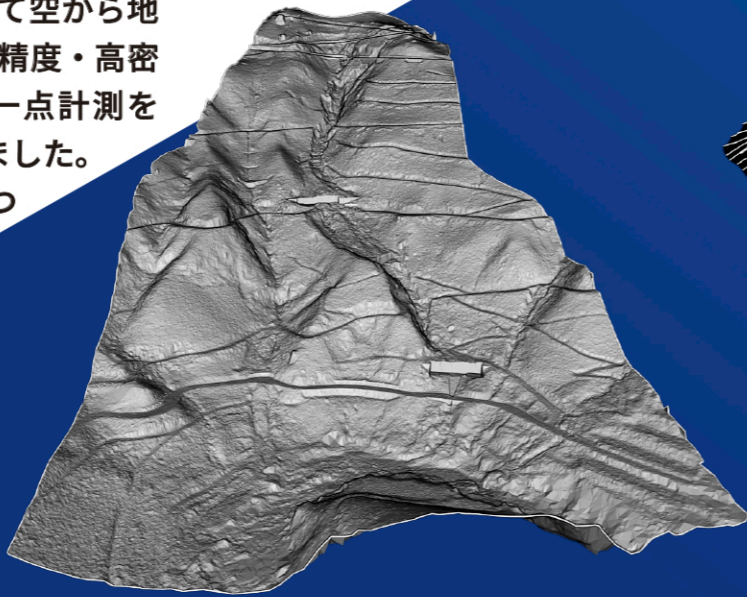


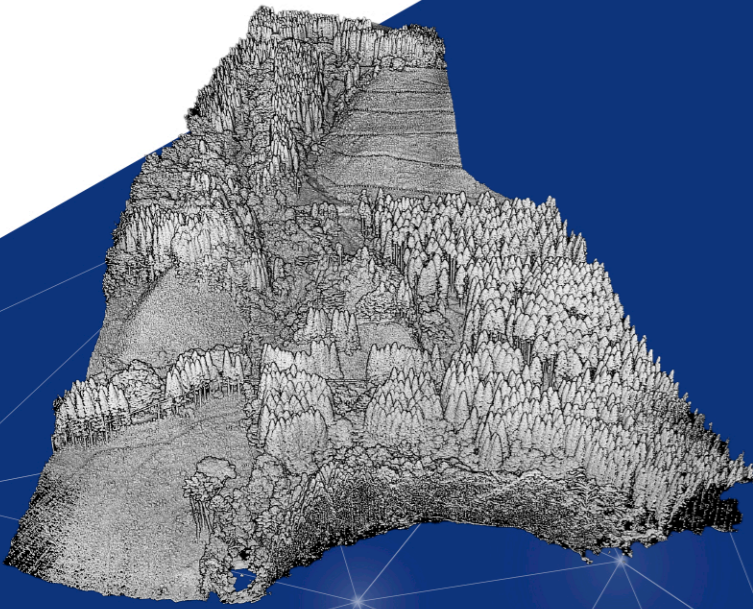
# 高精度のデータ 驚くほど迅速 高い安全性

UAV レーザ測量とは、UAV（ドローン）を利用して空から地上に向けてレーザ照射をおこない、地上情報を高精度・高密度に計測する技術です。従来は歩きながら一点一点計測を行っていたため、作業日数や安全性に問題がありました。しかし、UAV の活用により面的に広範囲を迅速かつ安全にデータの取得が可能となりました。



### 地表面データ

地形データから樹木等を除去。地表面のみで構成された点群及び面データを作成し、縦横断面図の基礎資料とします。



### 現地を三次元化

高密度レーザにより詳細に地形データを取得。デジタル化により、多種用途に活用できます。

## POINT 05 写真の同時撮影

UAV レーザ測量と同時に写真を撮影。撮影された写真は電子基準点等に紐づけられた高精度な位置情報をもつため、標定点が設置できない場所でも公共座標によるオルソ画像の作成が可能です。

## POINT 04 情報漏洩のリスク低減

国産 UAV を使用することで情報漏洩のリスクを低減。写真撮影には通信機能を持たない独立したカメラを使用し、撮影された写真は記録メディアのみに保存されるため外部から接触される恐れはありません。

## POINT 03 高精度レーザーで作業時間短縮

最大測距 600m のレーザーを秒間 50 万点照射するため、一度の飛行で高密度なデータを広範囲に計測できます。数値地形図作成で要求される 400 点 / m<sup>2</sup> にも余裕対応、作業時間の短縮が図れます。

## POINT 02 高い安全性と高品質

GNSS と高精度 IMU を組み合わせた高精度な測位システムを搭載。電子基準点を活用した基準点レスな測量が可能のため、立入困難な場所でも安全に高品質なデータの取得が可能です。

## POINT 01 自社所有機における迅速な対応

UAV レーザ計測には自社所有機を使用。すべての作業を自社で行うため、災害など急な案件にも迅速に対応できます。

### 三次元計画平面図

三次元データを用いることで計画図の視覚化が可能です。3DCAD での計画や ICT への円滑な運用が可能です。

## 九建設株式会社だからできる UAV レーザ測量の特徴

### 三次元等高線図

地表面データから等高線を自動作成することが可能です。等高線の三次元化により詳細な地形表現が可能です。

